

城里町地域計画座談会の意見交換にもとづく地域計画の方向性や回答

番号	テーマ	地区	年度	開催日	課題・疑問・要望・事象など	町・関係機関等の見解	
1	担い手の確保	小松	R7	8月10日	担い手を確保するためには、どのような方法があるか知りたい。	担い手の確保には①地元出身者がUターンして新規就農する。②親元就農する。③町外から地域おこし協力隊を雇用する。④町外から農業法人を誘致するなどの取組があります。これまで当町では③と④を推進し、担い手の確保をしております。	
2	基盤整備	小松		8月10日	GPS(Global Positioning System)やRKT(Real Time Kinematic)技術を活用し、効率的な農業を推進してもらいたい。	基盤整備については、最も多くの質問がありました。事業を進めるには、地域の同意が不可欠であり、地域の皆様において話し合いを重ねていく必要があります。このため、県とも連携し、地域計画の分科会などにおいて、事業に関する情報提供や農業者及び関係者間の連携を図る場を設けてまいります。	
		岩船		8月27日	基盤整備にはどのような種類があるか知りたい。		
3	有害鳥獣害対策	小松		8月10日	どのような有害鳥獣対策があるか知りたい。	有害鳥獣による農作物被害対策には、①捕獲強化などによる「個体群対策」、②防護柵の設置などの「進入防止対策」、③収穫後の残渣を置かないなどの「生息環境管理」などがあります。①は狩猟免許の取得者確保、②農業者による自己防衛、③地域ぐるみでの環境整備などの取組が必要となります。 【農作物被害対策】 【有害鳥獣の生態と特徴】  	
				8月27日	農地への進入防止のため、防護柵等を設置する場合の補助制度を知りたい。	電気柵及び防護柵等の資材購入費について、県と町併せて2/3(上限6万円)を補助します(令和7年度現在)。また、町内の自治会等で認められた者が購入するわなの1/3(上限4万円)を補助します。 その他、捕獲に必要な免許を取得する費用も補助しておりますので、お問い合わせください。	
4	特産品づくり	小松	R7	8月10日	特産品づくりや商品のブランド力を向上するための、ノウハウを知りたい。	特産品とは、主に特定の地域で生産される農産物のことなので、部会や共同組織を作り、地域が一体となって、生産される産物です。そのため、まずは農業者同士の連携が必要となります。当町では、JAに所属する生産部会などがあります。 ブランド力の向上は、商品の価値を高めることなので、個人でも生産者団体でも取組が可能です。町では、城里町ブランド創出協議会が設置されており、優良な農産物を「城里町ブランド推薦品」として認定し、地域農業や町のイメージアップを目指しています。また、いばらき農業アカデミーでは、各種関連セミナーが開催されていますので、お問い合わせください。	
5	農機具のリース、共同利用、バンク	小松		8月10日	農業公社が農機具のリース事業をおこなっている自治体もあると聞いているので、城里町でも実現して欲しい。	リース事業を行っている県内の農業公社に問合せたところ、農業経営コスト低減と経営規模拡大を支援するため、トラクターやコンバイン等農業機械を貸し出しをおこなっているとのことでした。一方で、運営組織体制づくり、膨大な初期費用、運営維持費の確保など、様々な課題が確認できたため、必要性の精査、合意形成に向けた協議など長期的な視点で、取り組む必要があると考えます。まずは、農業者同士が地域を越えた連携を深め、意見交換や共同利用の検討から取り組んでいただければと考えております。	
				8月27日			